



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北がより

春休み号

令和4年 3月 24日

練馬区立大泉北小学校

校長 松井 貴子

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

学年修了、おめでとう！進級です。 卒業、おめでとう！進学です。



校長 松井 貴子

校庭の梅が香る中、6年生を送る会を工夫して実施しました。「6年生にチャレンジ！」下級生にとっては、最高学年を敬う心やお祝いする気持ち育む時間となりました。卒業生にとっては、下級生との関わりの中で最高学年としての自覚を高め、下級生の様子から自己の成長をみつめ、進学への意欲を高める機会となりました。2年間コロナ禍で関わりを深める交流の機会は限られてはいましたが、

ピンチはチャンスと捉え、一つ一つの学校の活動の意味を教師もそして子供たち自身も深く考え、より有意義な時間として積み重ねてきたことを誇りに思います。自分の“今”を大切に生きること、未来を創ることになります。そして、一所懸命生きた過去の経験は、財産です。

明日は卒業式。卒業アルバムの一人一人の原稿には、家族や友達、そして先生方や大人への感謝の言葉が多く記されていたことに感心いたしました。保護者や地域の皆様、また、広い校庭、けやきの木々や「どろんこ山」といった恵まれた自然環境により、心豊かな人に育っているからだと思います。我以外皆師。人に感謝できるのは、学ぶ力が十分身に付いているということです。それから、将来の事をそれぞれが自分でしっかり考え、人の役に立ちたいと考えているその頼もしい100人の子供たちが、明日大北小から、夢をもって卒業です。おめでとうございます。

希望の春が、今年もやってきます。教職員一同、笑顔で歩いていきたいと存じます。

保護者、地域の皆様、関係者の皆様、本年度もたくさんの御支援をありがとうございました。

【来年度の教育活動等についてのお知らせ】令和4年度学校グランドデザイン

1 新型コロナウイルス感染防止対策

- ◇始業式・入学式は、規模縮小・時間短縮でおこないます。
 - ◇春季休業中の校庭開放・図書館開放は、通常通り実施します。
 - ◇感染拡大の状況により、予定が大きく変更となることがあります。
- 学校ホームページや学校連絡メールで随時連絡いたします。

2 令和4年度の主な行事関係予定日

- | | | | |
|-------------|---------------------------------|-----------|-----------|
| ◇入学式 | 4/6 (水) | ◇卒業式 | 3/24 (金) |
| ◇1学期始業式 | 4/6 (水) | ◇1学期終業式 | 7/20 (水) |
| ◇2学期始業式 | 9/1 (木) | ◇2学期終業式 | 12/23 (金) |
| ◇3学期始業式 | 1/10 (火) | ◇3学期修了式 | 3/23 (木) |
| ◇6年下田移動教室 | 6/8 (水)～10 (金) 2泊3日 | | |
| ◇5年武石移動教室 | 10/19 (水)～21 (金) 2泊3日 | | |
| ◇体育学習発表会 | 10/8 (土) | | |
| ◇音楽科学習発表会 | 11/11 (金)～12 (土) ※12 (土)は保護者鑑賞日 | | |
| ◇セーフティ教室 | 7/8 (金) | ◇区・一斉防災訓練 | 9/10 (土) |
| ◇道徳授業地区公開講座 | 1/14 (土) | | |
| ◇連合水泳記録会 | 9/7 (水) | ◇連合音楽会 | 11/8 (火) |

◆第1回保護者会・学校説明会

4/12 (火) 3・4年、4/13 (水) 5・6年、4/15 (金) 1・2年

【経営目標】地域の宝である子供たちは、地球の未来を築く宝

夢や目標をもち困難を乗り越える力を備えた、笑顔で挑戦する子どもたちを育成する学校を創る。

「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

【学校教育目標】社会変化に主体的に対応し、めあてに向かって意欲的に学び、考え、問題解決的に行動する、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもった児童を育

豊かな人間性 心豊かな子ども
人を思いやり、豊かなコミュニケーションにより、
すすんで仲よく活動する

健康・体力 健康で根気強い子ども
命を大事にし、健康な心と体をつくる

『挨拶・返事、目と耳と心で聴て、すすんで活動』
自分とともに他人を大切にす態度の育成

『自分の身は、自分で守る』
新しい時代の健康教育・安全教育の充実

「言葉の力」とは、
情報を正確に理解した上
で相手の表現の意図や背
景を推論し、根拠を挙げ
て自分の考えを述べ、話
し合っ解決する力

資質・能力の育成
よく考える子ども・みんなと力を合わせる子ども
自分の考えをもち、挑戦意欲が高い

『言葉でつながる・人とつながる・心がつながる』
協働して 問題解決できる

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ・「言葉の力」を身に付け、自ら考え判断し行動する。
- ・豊かなコミュニケーション能力を身に付け、多様性を力とする。
- ・心身の健康へ関心をもち、すすんで体力の向上を図る。

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・言語能力や情報活用能力を高め、創造的に問題解決できる。
- ・自己調整力を高め、自他を尊重し、学びを深めることができる。
- ・よりよい生活・学習習慣の確立し、学力及び体力の向上

児童の実態 (R2年度→R3年度肯定的な回答)

- ・自己有用感 59%→82% ↑
- ・自己肯定感 60%→70% ↑
- ・初めてのことへの挑戦意欲の差
- ・コロナ影響で挨拶が不十分
- ・読書への意欲 75%上昇 ↑
- ・タブレット端末活用に意欲的 91%

子供の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導

- ICT教育推進による個別最適な学びの充実
- 特別支援教育の推進 SC、SSW、こころのふれあい相談員、生活支援員等との連携体制の充実とあおぞら教室の効果的な活用 焦点化・視覚化・共有化を意識した授業

目指す子どもの姿

- ・生活・運動・学習習慣の定着を目指す
- ・探究心に溢れ、笑顔で挑戦する。
- ・元気にさわやかな挨拶ができる。
- ・読書により「言葉の力」を伸ばす。
- ・体験やICTを活用した学びにより、自己の生き方を考えることができる。

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・各教科等における言語能力や情報活用能力の向上を柱に、問題解決的な思考力・判断力・表現力等を身に付ける。
- ・読書活動や体験活動を充実させ、児童が夢や目標への課題意識をもつ。
- ・人権・道徳教育により思いやりや社会貢献への意識の醸成を図る。
- ・健康教育及びICT教育を充実させ、自立した生活・学習習慣を身に付ける

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・キャリア教育の視点を取り入れ、ねらいの明確な授業を工夫し、人間関係形成力、課題対応能力、将来設計能力、意思決定能力を高める。
- ・計画的な読書や体験活動を通して、自己の生き方を考え、深める。
- ・「傾聴」を大切に、互いのよさを認め、自他を尊重する態度を身に付ける。
- ・健康や安全についての知識理解を深め「改訂大北小スタンダード」や体力テストや学習結果等を活用し、生活及び学習習慣を身に付ける。

実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 【教職員連携】①自他を尊重し、一人一人に居場所のある学級経営 ②校内研究・校内研修の充実 ③指導体制の工夫
- 【地域を核とした連携】①保護者と協働したICT教育の推進及び学習習慣の確立②地域・社会を生かした体験活動の充実
- 【カリキュラム連携】①幼保小中の学びの系統性とキャリア教育の推進 ②教育資源の活用 ③教科横断的な指導の充実

安心・安全な学校づくり

【安全・安心な学校づくり】

- ・「自分の身は自分で守る」(時代に合わせた安全教育の推進)
- ・人権尊重教育を基盤とした言語環境の整備、校内美化
- ・健康教育の充実により生活習慣の確立と心身の健康の育成

開かれた学校づくり

【信頼される「未来の」学校づくり】

- ・積極的情報発信により学校経営方針及び重点内容の共有
- ・地域社会連携事業を強化し、多様な教育活動の精選と拡充
- ・いつでも自分から学べる学習環境整備と楽しい教育環境づくり

研究のまとめ

研究主任
吉田 悠太

今年度は「情報活用能力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現～ICTを活用した協働学習を通して～」を研究主題として校内研究を進めてまいりました。日々のご家庭でのご指導やアンケートへのご協力ありがとうございました。今年度の取組のまとめをご報告します。

◆日常の取組

○Google Meetによる全校朝会

新型コロナウイルス感染予防対策として、全校朝会をオンラインで行いました。映像をGoogle Meetで、音声を校内放送で行い、常に安定した放送環境を整え、児童が各教室で落ち着いて全校朝会に参加することができました。

○学校の壁を越えた学習

3年生は、コロナ禍でZoomを活用して地域学習を行いました。白子川源流・水辺の会の方のお話をお聞きしたり、インタビューしたりすることで、身近に流れる白子川について詳しく知ることができました。

4年生の社会科では、Zoomを活用して八丈島の小学校の校長先生から直接お話をお聞きしたり、質問したりのオンライン交流で、学びを深めました。

6年生の社会科では、九州国立博物館とZoomを繋ぎ、学芸員から話を聞いたり、質問をしたりすることで、日本の国づくりへの大陸の政治や文化の影響について理解を深めることができました。

また、総合的な学習の時間では保護者の方とGoogle Meetを繋いでお話を伺うことで、実際の職業についてイメージをもたせ、自己の将来設計について考える機会となりました。

○発展的な学習



理科の学習でドローンを用いたプログラミング学習を行いました。与えられたミッションに対して、ブロックを並べてドローンに命令を出し、実際に飛ばした上でうまくいかない部分を考えながら修正を重ねる流れで行いました。ドローンへの児童の関心も高く、今後活用が期待されるICT機器を使った授業を行うことができました。

○生活指導との関連

月に1度行う安全指導では、情報モラルの指導を行っています。一人一台だからこそ、体験を通して学び合い、活用するためのネットリテラシーが必要となります。インターネットがもつ良い面・悪い面を学びながらタブレット端末を活用させ、情報活用能力を高めました。

第2学年の生活科では、風邪がうつるシミュレーションをつくる活動を通して、情報が広がってしまう様子を体験しました。本時では、最初は風邪をひいていた人は一人なのに、そこから一気に広がっていく様子を児童が自らプログラミングをしました。

まとめでは、インターネットの仕組みから情報拡散の仕組みを理解し、投稿時に気を付けるポイントを考え、安全な行動についての学びを深めました。

○クラブ活動・委員会活動

クラブ活動では、クラスルームを作成し、プログラミングに取り組んだり、動画機能を用いて、自分たちの動きの確認をしたりすることができました。

委員会活動では、タブレット等を活用して、全校への連絡や集会などの動画を作成し、約束を共有したり、クイズを楽しんだりすることができ、活躍の場を工夫して取り組みました。



◆家庭との連携

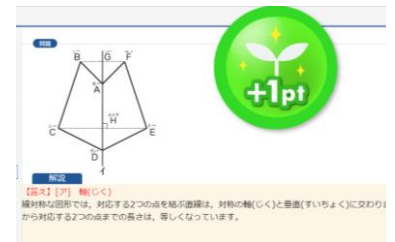
○Google Forms の活用

日々の検温の結果、欠席連絡、行事のアンケートなどで活用することで、回答を集計し、傾向を分析することができました。

○家庭学習習慣づくり

学力向上プロジェクトとして、算数得点アップウィークを設定しました。家庭学習においてもミライシード「ドリルパーク」を活用することにより、算数科の知識・技能の定着を図ることができました。

体力向上プロジェクトとして例年行っているなわとびチャレンジの記録の収集を、Google Forms で行いました。学校で取り組んだ記録だけでなく、家庭で取り組んだ記録も送信することができ、運動の日常化を推進することができました。



◆授業での活用

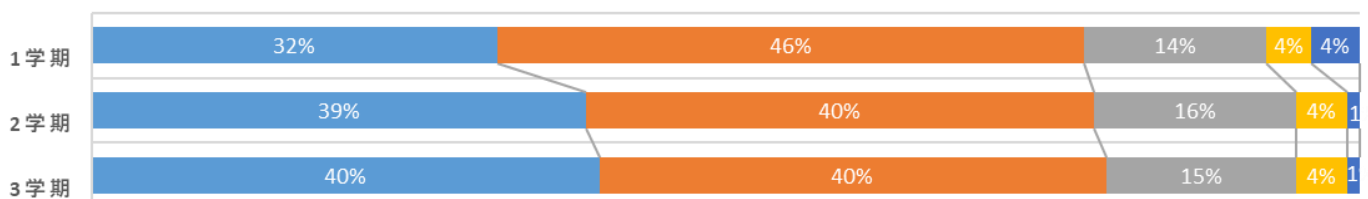
年間6本の研究授業を行い、各学級でも日々タブレット端末を使った学習に取り組みました。

- ・1年生「『スタンプ、スタンプ!』から音楽がうまれるよ!」
- ・2年生「バスケットでふしぎな2年2組のせかいをつくろう」
- ・3年生「ALPHABET」
- ・4年生「大切な友達だから」
- ・5年生「きまりは何のためにあるのだろう」
- ・6年生「テレビでやっているから大丈夫?」

◆まとめ

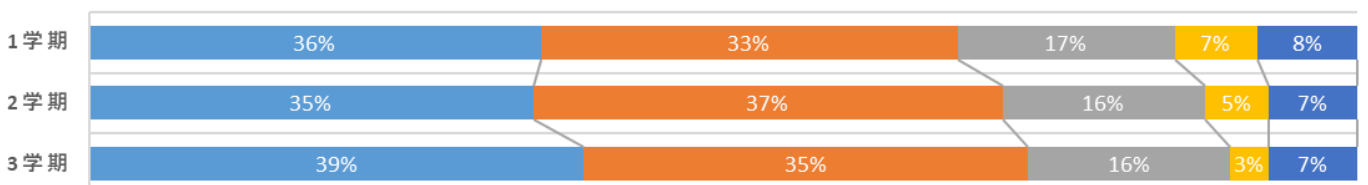
タブレットを使った学習で、授業が分かりやすくなりましたか

■とてもわかりやすくなった ■まあまあわかりやすくなった ■どちらともいえない ■あまり変わらなかった ■全く変わらなかった



タブレットを使った学習で、友達の考えを知ることができましたか

■できた ■まあまあできた ■どちらともいえない ■あまりできなかった ■できなかった



【成果】

- ・情報機器を活用する機会を増やすことで、情報手段の特性に対する理解が深まり、児童の問題解決・探求における情報を活用する力の育成を図ることができた。
- ・ICT を活用することにより学習意欲が高まり、児童が主体的 に学習に 取り組む場面が多く見られた。
- ・発話による対話だけでなく、ICT を活用した対話的な活動を取り入れることにより、児童が他者と自分の考えを比較して、自分の考えを深めることができた。
- ・教員の授業中に ICT を活用して指導する能力が向上し、授業展開の幅が広がった。

【課題】

- ・教科のねらいに対して ICT 機器がより効果的に活用できるよう、授業改善を行う。
- ・直接体験とリモートによる交流体験を精査し、教育活動に位置付けていく。